

## (協議事項 1) 県政 150 周年記念事業の推進

来年、平成 30（2018）年 7 月に兵庫県は成立から 150 周年を迎える。この県政 150 周年を契機に展開する兵庫・神戸の未来を創る取組の進め方等について意見交換を行う。

### 1 記念事業

#### (1) 記念事業のねらい

県政 150 周年の節目を迎えるに当たり、兵庫の歴史や先人の偉業を振り返るとともに、本格化する人口減少・超高齢社会の中で地域をどのように維持していくかという課題を共有し、県民と共に兵庫の未来を考える契機として、県政 150 周年記念事業を実施する。

#### (2) これまでの主な取組

平成 29 年 3 月 スタートアップシンポジウムを開催

平成 29 年 7 月 推進協議会設立総会兼 1 年前シンポジウムを開催

（議題：協議会規約(案)・基本方針(案)の承認、ロゴマークの発表）

平成 29 年 10 月 県民連携事業の募集を開始

（助成額：5～50 万円/件、別途特認事業（1/2 以内・500 万円以内/件））

※平成 30 年度も同様の助成事業を予定

平成 29 年 11 月 プレフェスタを開催

#### (3) 今後の取組の方向性

- ・平成 29 年 12 月に事業計画（案）を策定し、平成 30 年 1 月から記念事業を本格展開
- ・平成 30 年 7 月 12 日に神戸国際会館大ホールにおいて、記念式典を開催
- ・県民連携事業により、県民が企画・実施する創意工夫にあふれる取組を支援

【参考 p. 5】 県政 150 周年記念事業の概要

【別添】 県政 150 周年記念県民連携事業のご案内

### 2 兵庫 2030 年の展望（仮称）

#### (1) 趣旨

- ・2030 年は、団塊の世代が 80 歳を超え、県内の後期高齢者人口がピークとなる一方、AI・ロボット等の革新的技術の生活や経済活動への浸透が見込まれる。
- ・平成 30 年に県政 150 周年を迎えるに当たり、こうした社会構造の変化に直面する 2030 年頃を見通し、兵庫の進むべき方向を「兵庫 2030 年の展望（仮称）」として取りまとめる。

#### (2) これまでの主な取組

- ・有識者により構成された企画部会及び分野別研究会を設置し、議論を行うとともに、県民から幅広い意見を聴取

29 年 1 月～ 企画部会及び分野別研究会随時開催（これまでに計 3 回開催）

9 月 19 日 若者フォーラム

9 月～10 月 県民アンケート調査

10 月～12 月 県内各地での県民との意見交換

【参考 p. 7】 兵庫 2030 年の展望（仮称）叩き台

### (3) 今後の取組の方向性

- ・県内市町との意見交換、兵庫県長期ビジョン審議会における議論等を踏まえ、県政 150 周年を迎える 7 月を目途に取りまとめ

～30年 1 月	県内市町との意見交換
3 月	長期ビジョン審議会総会
7 月	取りまとめ

## **3 県庁発祥の地記念事業の検討・実施**

### (1) 現状・課題

- ・現在、兵庫県では、初代県庁が置かれた兵庫津地域において、県の成り立ちや当地の地域遺産に人々が触れ、集い、学ぶ機会を創出し、地域の活性化に資する事業（初代県庁の復元施設整備を含む）を検討している。

### (2) これまでの主な取組

- ・平成 18 年 11 月 初代兵庫県庁舎整備検討委員会設置
- ・平成 21 年 03 月 「初代県庁舎整備基本構想」中間とりまとめ
- ・平成 27 年度～ 兵庫津周辺地域の賑わい創出に向けた事業を実施  
(兵庫津をテーマとしたラジオ番組の放送、講演会の開催、周辺マップの発行、ジャズライブの開催等)
- ・平成 29 年 09 月 兵庫県庁発祥の地記念事業検討委員会設置

### (3) 今後の取組の方向性

- ・県市及び地元との連携により、復元施設の整備を含む兵庫津地域の活性化の取組を推進
- ・復元施設を核としつつ、兵庫（五国）・神戸の歴史・文化・産業の「学び」「体感」「体験」の場を提供する拠点の整備をめざし、復元施設の場所、規模、機能、管理・運営方法や周辺の地域資源を活用した地域活性化等について検討する。

#### **「初代県庁復元検討の概要」**

##### **【整備方針】**

- ひょうご五国の歴史・文化・産業等の「学び」「体感」「体験」の場を提供する拠点として、初代県庁の復元に加え、資料館的施設の併設を検討
- 都市にありながらも非日常を感じられる空間とするため、
  - ① 復元施設等は日本的な雰囲気の外観とする。
  - ② 復元施設は、勤番所、同心屋敷、船見番小屋など全て復元し、資料館として利用を検討。

##### **【施設機能】**

#### **1 展示機能**

- ・ひょうごの成立から現在までの歴史、五国の歴史・文化・産業が学べる展示
- ・ジオラマや映像等により、五感で当時の街並・生活や五国の魅力を実感できる展示
- ・ストーリー化した展示物や歴史的資料の活用等により、親しみやすく、“本物”が感じられる展示

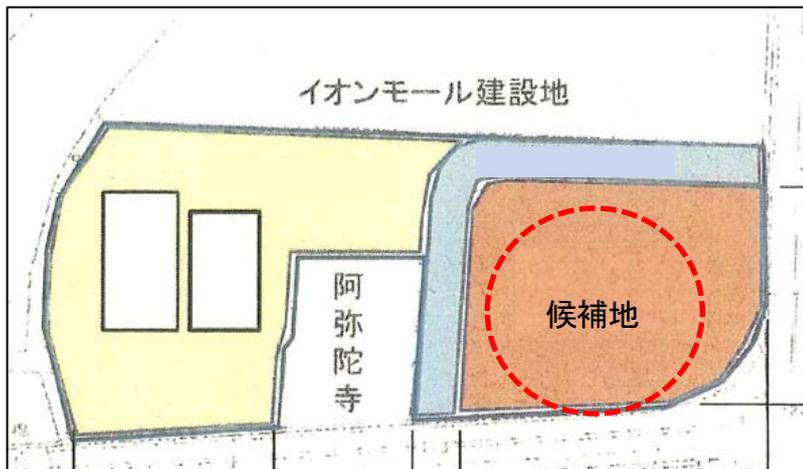
#### **2 体験機能**

- ・五国の歴史・文化・産業を体験できる教室・ワークショップを定期開催

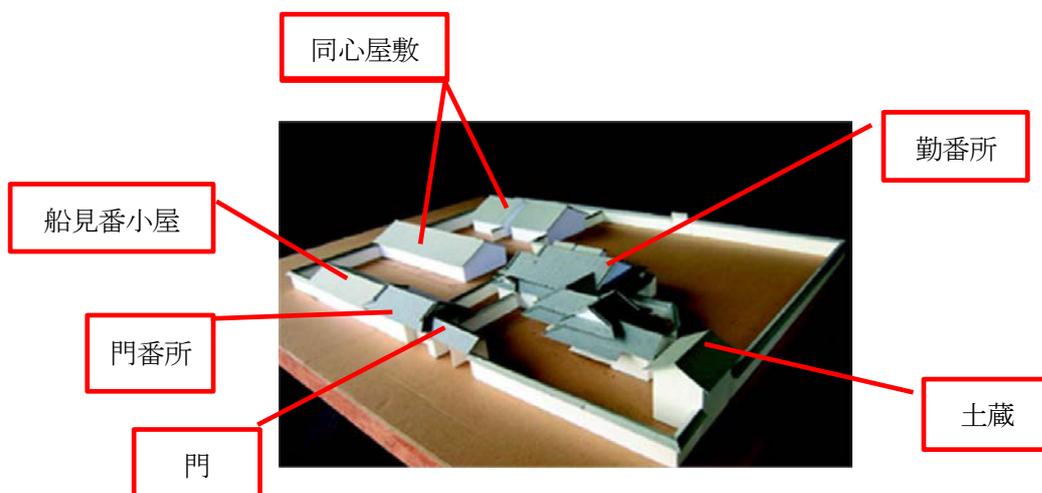
### 3 交流機能

- ・平清盛塚、高田屋嘉兵衛縁の場所など周辺資源とともに兵庫津地域を、“ひょうごを学ぶはじまりの地”として活用
- ・小学生の社会科見学のコースに組入れを検討
- ・地域住民・団体、企業等と協働して復元施設等を拠点に兵庫津地域の活性化を推進

#### 【候補地】



#### 【復元施設の模型（写真）】





## 県政 150 周年記念事業の概要

### 1 趣旨

平成 30 (2018) 年に、兵庫県は、成立から 150 周年を迎える。この節目の年を、県民と共にこれまでの歴史を振り返り、地域の未来を考える機会とするため、「県政 150 周年記念事業」を実施する。

### 2 基本理念

#### (1) 変化への対応

本格的な人口減少、少子高齢社会を迎える中で、これまで培ってきた兵庫らしさを見直し、その強みを活かして、どのような兵庫を創っていくのかを共に考える。

#### (2) ふるさと意識の醸成

県民一人ひとりのふるさとを愛する思いが兵庫の未来を築く礎となる。兵庫の強みに磨きをかけて誇りと自信を持てる地域を作り上げ、県民のふるさと意識を育む。

#### (3) 兵庫の魅力発信と知恵の継承

兵庫の多様な魅力を再確認し、国内外に発信する。先駆的な取組の中で培ってきた兵庫の知恵を世界に広く伝えると共に、新しい兵庫づくりに活かしていく。

### 3 基本テーマ

【全体テーマ】

**兵庫の未来を創る**  
～創造と共生の舞台・兵庫の実現をめざして～

【サブテーマ】

#### 五国の魅力を磨く

- ・ 150 年の歩みの振り返り
- ・ 歴史遺産、偉人を後世に繋ぐ取組
- ・ 地域の魅力の再発見
- ・ 兵庫の先進性を再認識する取組
- ・ 地域の個性を活かす新たな拠点づくり

#### 交流の輪を広げる

- ・ 地域内交流の拡大と充実
- ・ 五国間交流の活性化による相互理解、一体感の醸成
- ・ 兵庫の魅力の県外への発信
- ・ 世界との交流拡大

### 4 事業展開方針

#### (1) 基本的な考え方

- ① 複数年にわたり、全県エリアで、参加型イベントや行事を重層的に展開
- ② 県民、地域団体、NPO、企業等様々な主体の参画と協働の実践による事業を展開
- ③ 150 年の歴史を振り返り、ふるさと兵庫を再認識し、未来を考える機会を創出

#### (2) 事業期間

先行実施：平成 29 年中（平成 29 年 12 月 31 日まで）

本格実施：平成 30 年 1 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日（メインイベントは 7 月 12 日）

※ハード施設については平成 30 年度に基本方針等を提示、平成 31 年度以降の完成も含む。

## 5 主な事業（案）

### (1) 記念式典

- ・平成 30 年 7 月 12 日（木）、神戸国際会館大ホールで開催（約 1,500 名出席）
- ・記念演奏、小中学生による発表、「兵庫 2030 年の展望」の公表、基調講演等

### (2) 県事業

#### ① 全県事業

- 新しい県史の編纂
  - ・1967 年刊行の「兵庫県百年史」に次ぐ県史を編纂（2022 年 3 月完成予定）
- 「景観ビューポイント 100 選」の選定
  - ・良好な街並みや自然景観を眺望できるビューポイント（視点場）を選定
- 記念展覧会等の開催
  - ・県立の美術館・博物館等を挙げて県政 150 周年を記念する展覧会などを開催
- 全国フォーラム等の集中開催
  - ・兵庫の先進施策等に係る会議等を開催（例：瀬戸内海環境保全知事・市長会議）
- 「ひょうご五国博」の開催
  - ・「ふれあいの祭典」を拡充して開催（県立明石公園で農林漁業際と同時開催）
- 姉妹・友好州省サミットの開催
- 「兵庫 2030 年の展望（仮称）」
- 県庁発祥の地記念事業の検討・実施

#### ② 地域事業（10 地域ごとに地域の特色を活かした取組を展開）

##### <神戸>

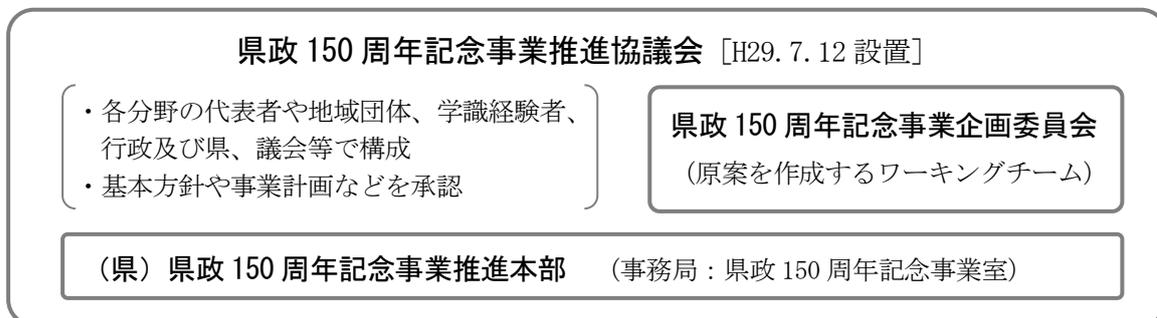
- 兵庫津地域の再発見（県庁発祥の地記念イベント、兵庫津まちのガイド養成等）
- 新開地の活性化（演芸場「神戸新開地・喜楽館」開館を記念した落語公演等）

### (3) 県民連携事業

- 助成額：5～50 万円/件、別途特認事業（1/2 以内・500 万円以内/件）

【参考】県政 150 周年記念県民連携事業のご案内（別紙）

## 6 推進体制



# 兵庫2030年の展望（仮称）叩き台

## I 策定趣旨

### ■ 長期にわたる人口減少

- 人口減少は今後数十年にわたって継続
- 暮らしや地域・産業構造が大きく変容しうる時代を前に、将来の不透明感が拡大

### ■ 未来を拓く展望の共有

- 不透明感が広がる今こそ、未来を拓く展望を広く共有することが重要
- 75歳以上の高齢者がピークに達するなど、社会が大きく変化していく2030年頃を見通し、「兵庫2030年の展望(仮称)」として取りまとめ

### ■ 長期ビジョンと地域創生戦略をつなぐ

- 2040年を目標年次とする「21世紀兵庫長期ビジョン」と2020年を目標年次とする「兵庫県地域創生戦略」をつなぐ役割

## II 2030年に向けた環境変化

### 1 人口減少と少子高齢化の進行

#### ■ 人口減少・少子高齢化の進行

総人口	2015年 553万人	➔	2030年 527万人
年少人口(0~14歳) (総人口に占める割合)	71万人 13%	➔	66万人 13%
生産年齢人口(15~64歳) (同)	328万人 59%	➔	302万人 57%
拡大生産年齢人口(15~74歳) (同)	413万人 75%	➔	363万人 69%
後期高齢者人口(75歳以上) (同)	69万人 12%	➔	98万人 18%

※2030年人口は、地域創生戦略に基づく自然増・社会増対策後の人口(2060年 450万人)をベース

#### ■ 都市部でも人口減少局面へ移行

2025年頃 芦屋市 伊丹市 2030年頃 灘区 西宮市

#### ■ 人口の偏在化

2015年-2030年  
神戸・阪神南・阪神北・東播磨・中播磨 ▲3.3%  
北播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路 ▲11.5%

#### ■ 健康寿命の延伸

2013年 2030年  
男 79.0歳 ➔ 82.0歳  
女 83.4歳 ➔ 84.5歳

#### ■ 安心基盤の充実

2015年 2030年  
要介護等認定者数(県) 29万人 ➔ 41万人 (趨勢シナリオ)  
(健康向上シナリオ)

2016年 2020年  
特養・老健等の整備見込(県) 4.8万床 ➔ 5.3万床

2016年 2025年  
定期巡回・随時対応サービス  
事業所数の見込(県) 36事業所 ➔ 300事業所

### 2 働き方の変革と生まれるゆとり時間

#### ■ 働き方の多様化

- ICTを活用したテレワーク（サテライトオフィス、在宅勤務等）が広く普及
- 兼業・副業を認める企業が拡大
- ライフスタイルにあわせて働くフリーランスが増加
- 事業立ち上げコストの低下等により起業が増加

#### ■ 広がるワーク・ライフ・バランスの取組

企業名	取組内容
川崎重工業	全社員の半数を超す約9000人が利用可能な在宅勤務制度を2018年1月に導入
モロゾフ	ショートタイム社員制度を設け、生活にあった働き方を実現
三ツ星ベルト	小学生以下の子どもをもつ共働き世帯等が利用できる最大12日間の「お星さま休暇」を創設

### 3 経済環境の構造的変化

#### ■ 成長する次世代産業

産業	2015年	2030年
航空機産業	1.8兆円	3兆円
ロボット	1.6兆円	7兆円
水素エネルギー	-	1兆円

#### ■ 就業者数の減少



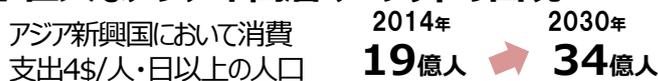
#### ■ 第4次産業革命の進展

- ・AI（人工知能）、ロボット等の革新技術の浸透
- ・AI・ロボットでは対応できない対人サービス等で人の役割が増大

#### ■ 本格的な水素社会の到来

- 【2030年頃の普及イメージ】(国ロードマップ)
- ・発電事業用水素発電の本格導入、パイプラインによる水素輸送
  - ・海外からの未利用エネ由来水素の製造、輸送・貯蔵の本格化

#### ■ 巨大なアジア中間層マーケットの出現



### 4 巨大災害の懸念と対策

#### ■ 巨大地震の発生確率

【南海トラフ地震の発生の可能性】

- ・地震の規模 M8～9クラス
- ・発生確率 30年以内に70%

#### ■ 地震・津波対策の進展



#### ■ 多発する豪雨と対策の進展



### 5 大交流時代の到来

#### ■ 外国人旅行者の増加



#### ■ 都市農村の対流の拡大



#### ■ 陸海空の交通インフラの充実

区分	内容
道路	・山陰近畿自動車道浜坂道路、新名神高速道路(2017年度完成) ・中国横断自動車道姫路鳥取線(2020年度完成) ・大阪湾岸道路西伸部[六甲アイランド北～駒栄]、名神湾岸連絡線、山陰近畿自動車道浜坂道路Ⅱ期、北近畿豊岡自動車道[日高神鍋高原～豊岡]、東播磨道(2030年頃までの完成) ・山陰近畿自動車道[全線]、北近畿豊岡自動車道[全線]、神戸西バイパス、播磨臨海地域道路(早期完成に向けた整備推進)
空港	・関西3空港の一体運営、伊丹・神戸の国際化の推進
港湾	・神戸港の国際戦略港湾としての競争力強化に向けた基盤整備
鉄道	・リニア中央新幹線 名古屋-大阪間(2037年頃開業想定)(8年間前倒しの場合) ・北陸新幹線 敦賀-大阪間(リニアとの同時開業に向け努力)

## Ⅲ 基本方針

### 1 「暮らしの質」を追求する兵庫モデルの構築

【キーワード】 健康寿命、介護基盤、ワーク・ライフ・バランス、環境、楽農生活、防災力 等

### 2 「未来の活力」への投資

【キーワード】 子育て環境、人づくり、起業、イノベーション、科学技術 等

### 3 「ダイナミックな交流」の拡大

【キーワード】 観光交流、二地域居住、交通インフラ、アジア等との経済交流 等

## Ⅳ 兵庫の2030年の姿

1 充実する「自分時間」

2 希望が叶う出産・子育て

3 健康長寿で安心な暮らし

4 高まる防災力と復元力

5 自然と調和した環境先進地

6 情熱と才能が輝く人づくり

7 人と技術の共進化が生む経済活力

8 人材力を高める新しい働き方

9 世界が食す御食国のめぐみ

10 人と元気が行き交う五国

# 1 充実する「自分時間」

## 2030年の姿

### ① 「自分時間」の増加

- ワーク・ライフ・バランスの実現、「時短家電」の普及、育児・介護の環境整備等により、仕事や家事に拘束されない「自分時間」が増加

### ② 充実した「自分時間」を過ごす県民が拡大

- 増加する「自分時間」の充実度が、人生の満足感や住む場所の選択に大きく影響する時代となり、次のような活動に取り組む県民が増加
  - 年齢にかかわらずスポーツを楽しむ県民、芸術・文化に親しむ県民
  - 都市と農村の近接性を生かして気軽に農を楽しむ県民
  - コミュニティ活動やボランティア活動、生涯の学び等を楽しむ県民 等

### ③ 兵庫への転入者の増加

- 「自分時間」の充実によって県民の暮らしの質が高まるとともに、兵庫ならではの豊かな過ごし方を求めて転入者が増加



神戸マラソン



県立芸術文化センター



移住相談に応じる地域住民

# 2 希望が叶う出産・子育て

## 2030年の姿

### ① 希望どおりの年齢での結婚が実現

- 若者のキャリア形成や非正規雇用の待遇改善が進み、経済的基盤が強化
- 男女の出会いの機会の充実

### ② 希望どおりに子どもを産み育てられる環境が整備

- 保育所や放課後児童クラブの拡大等により、待機児童や「小1の壁」が解消
- ひとり親家庭や多子世帯等への支援が充実
- 小児・周産期医療体制の充実など、安心して産み育てられる環境が整備

### ③ 職場や地域が子育てを支え、仕事と生活が調和

- 長時間労働の是正やテレワークの浸透など、子育てしやすい就労環境が整備
- 家族ぐるみ、地域ぐるみの子育てが拡大



子育て世代の集まり



地域における子どもへの七夕に関するレクチャー

### 3 健康長寿で安心な暮らし

#### 2030年の姿

##### ① 健康づくりや次世代医療の広がりにより、健康寿命が延伸

- 気軽に運動や介護予防に取り組める環境が整い、だれもが健康づくりを实践
- がんや認知症等の発症を予防する先制医療など、次世代医療が普及

##### ② 住み慣れた地域で介護・医療サービスを受けられる環境が整備

- 医療・介護・住まい等の連携したサービス提供体制が実現
- 介護施設の増設や24時間対応の在宅サービスの充実、病床の適正配置等が実現
- 高齢者の暮らしや介護現場を支える介護ロボットが普及

##### ③ 認知症など支援が必要になっても、平常時・災害時ともに安全安心が確保

- 地域の様々な主体が関わる地域ぐるみの見守り体制が構築
- 災害時における要援護者対策等が進展



健康体操の風景



介護負担の軽減に役立つパワーアシストスーツ



コミュニケーションロボットを使ったレクリエーション

### 4 高まる防災力と復元力

#### 2030年の姿

##### ① ハード・ソフトの事前対策が進展し、防災・減災力が強化

- 建物の耐震化、水門や防潮堤の整備、総合的な治水対策、災害に強い森づくり、治山ダム・砂防えん堤の整備等が進展し、災害に強い県土が形成
- 自主防災組織の強化、災害時要援護者の避難体制の整備が進み、地域防災力が向上

「災害に強い森づくり」で整備された土留め



##### ② 災害からの復元力が向上

- 自治体の事前対策から復興までのシナリオづくり、企業の事業継続計画（BCP）の策定など、早期の復旧・復興の取組が進展し、社会全体の復元力が向上

防災訓練



##### ③ 防災先進県の知が国内外に浸透

- 兵庫で学んだ防災の専門人材が国内外で活躍
- 阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえた被災地支援が展開

人と防災未来センター現地支援（熊本県）



## 5 自然と調和した環境先進地

### 2030年の姿

#### ① 低炭素型のライフスタイル・産業活動が定着

- 多消費型のライフスタイルや生産工程の改善など、温室効果ガス排出の少ない活動が定着
- 再生可能エネルギーの拡大やCO<sub>2</sub>フリー水素の導入など、温室効果ガスを出さないエネルギーづくりが推進
- パリ協定を踏まえた県温室効果ガス削減目標（2030年度に2013年度比26.5%削減）が実現

#### ② 人と自然が共生

- 野生動物の適正な保護管理により、人と野生動物との調和のとれた共存が実現
- 貴重な動植物が保全され、兵庫の豊かな生物多様性が維持
- 兵庫の自然を楽しむ観光客が国内外から数多く訪問し、「環境観光産業」として発展



野生復帰が進むコウノトリ

#### ③ 兵庫の豊かな森林が多面的機能を最大限に発揮

- 森林の適切な管理が進み、CO<sub>2</sub>吸収源としての機能を発揮
- 県産木材の建築用材やバイオマス資源としての活用が拡大。CLT工法やセルロースナノファイバーなど、新たな用途での利用も進展
- 災害緩衝林の造成や簡易流木止め施設の設置等の取組が進み、流木・土石流の発生を抑制



CLT(直交集成板)を活用した木造建築物

## 6 情熱と才能が輝く人づくり

### 2030年の姿

#### ① 未来を主体的に選択し、自立して挑戦する人材を輩出

- 将来就きたい職業やめざす目標をもって主体的に進路を選択し、具体的な計画を立てながら自立して未来に挑んでいく人材を輩出
- チャレンジ精神や創造性、コミュニケーション能力など、AI(人工知能)が社会に浸透する中でより強く求められる能力が向上

#### ② 地域への誇りや愛着を持った次代の担い手を輩出

- 地域への愛着や誇りを持ち、地域の抱える課題やその中で自らが果たす役割を考え、行動する人材を輩出

#### ③ グローバルな共生力・協調性を身につけ世界で活躍する人材を輩出

- 多文化共生の意義を深く理解した人材、世界の課題解決に貢献する人材を輩出

#### ④ 一人ひとりの子どもが愛情に包まれ、安心して暮らし、学べる環境が実現

- いじめや不登校が解消されるとともに、虐待や貧困の世代間連鎖が断ち切られ、すべての子どもたちが安心して暮らし、学んで、自己の才能を開花



数学・理科甲子園に挑戦する高校生



地域課題解決のためのフィールドワーク



外国人生徒とのディスカッション

# 7 人と技術の共進化が生む経済活力

## 2030年の姿

### ① ものづくり産業が革新技术や科学技術基盤を生かしながら持続的に発展

- 本県の強みであるものづくり産業が、厚みのある技術力や科学技術基盤を活用し、航空機、水素エネルギー、ロボット、先端医療等の次世代産業分野への進出を加速させて発展
- 第4次産業革命で生まれる革新技术が浸透し、人はAI・ロボットでは対応できない対人サービス等の分野において役割が増大

### ② 地域産業がブランド力を高め地域経済を活性化

- オンリーワンの技術で世界を相手に活躍する中小企業が増加
- ブランド力をもった地場産業が拡大するアジア消費市場など国内外の販路を拡大

### ③ 高齢者の暮らしを支える産業が拡大

- 高齢者ニーズに対応した生活支援産業が拡大

【図表7-1 革新技术を生かしたサービス等】

第4次産業革命の革新技术の活用により、幅広い分野で新たなサービス等が創出

共通基盤技術	サービス・技術例
IoT	あらゆるモノがネットワークでつながる ・個人にカスタマイズされた予防医療
AI(人工知能)	機械自らが学習し高度な判断を実施 ・無人物流・無人配達 ・無人自動車による移動サービス
ロボット	多様かつ複雑な作業を自動化 ・栽培技術のデータ化による高度な精密農業

出典 ビジョン課作成

【図表7-2 高齢者の暮らしを支える産業】

医療・介護への対応や元気高齢者のニーズに応えるサービスが拡大

医療・介護分野のサービス	・遠隔医療サービス ・見守り ・創薬・再生医療 等
元気高齢者の活動を支援するサービス	・シニア向け旅行 ・健康増進サービス ・自動運転車 等

出典 NHK出版『「エイジノミクス」で日本は蘇る』(2017)を基に  
ビジョン課作成

# 8 人材力を高める新しい働き方

## 2030年の姿

### ① 個人のライフスタイルに応じた柔軟な働き方が実現

- 短時間・在宅勤務、サテライトオフィスでの勤務等が広がり、時間・空間にとらわれない、ライフスタイルに応じた多様な働き方が実現



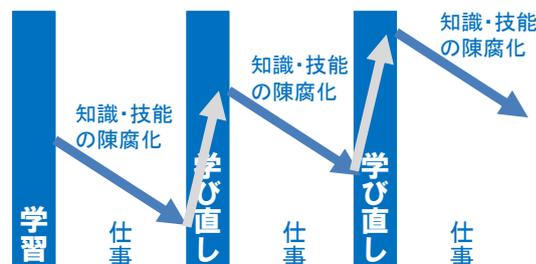
テレワークで働く社員（県内日用消費財メーカー）

### ② 生涯現役で活躍するシニアが増加

- 豊富な経験や人脈を生かした高齢者が、必要な学び直しも行いながら企業や地域で活躍

### ③ 「人生複線化社会」

- 兼業・副業など、キャリアの複線化が容易な社会が実現



### ④ 起業が当たり前となる社会

- 立ち上げ費用の低下、資金調達手段の多様化、電子商取引の拡大等により、起業が大幅に増加。スタート時から世界の市場を取り込むビジネスも誕生
- 再起業の際の資金調達手段の充実や起業経験者を採用する企業の増加等、起業に失敗しても何度でもチャレンジできる社会が実現

# 9 世界が食す御食国のめぐみ

## 2030年の姿

### ① 農業の生産体制が強化され、持続的に発展

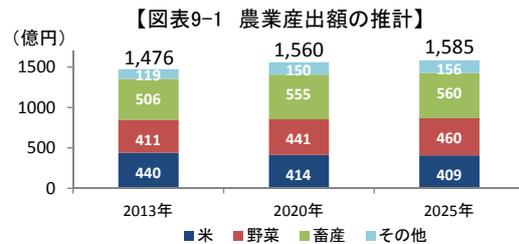
- 都市近郊の立地等の強みを生かした農業が展開
- 経営体の組織化・法人化が進むとともに、不耕作農地の活用や、付加価値を高める農地の高度利用が進展
- 施設園芸における環境制御技術の普及や自動走行トラクターの導入など、農のスマート化が進展
- 楽農生活が広がり、遊休農地の活用や農に親しむ県民が増加

### ② 県産ブランド品が拡大

- プラチナブドウや温室バナナなど付加価値の高い県産ブランド品が数多く誕生し、国内外の需要を獲得
- 畜産農家の規模拡大など、ブランド製品の需要増に応じた安定的な生産体制が確立

### ③ 豊かな海が再生し、水産業が活性化

- 藻場等の保全・回復や漁場整備開発等が進展
- 養殖業の導入が進み、収益性の高い漁業が実現



出典 兵庫県「ひょうご農林水産ビジョン2025」(2016)

【図表9-2 農業構造の展望】

総農家数は減少するが、担い手農家<sup>※</sup>は増加。担い手農家への農地集積シェアは拡大

年	総農家 (農地面積)	うち、担い手農家戸数 (担い手農家の農地面積・シェア)
2014	94,549戸 (75,800ha)	40,050戸 (22,700ha・30%)
2025	61,500戸 (75,800ha)	48,500戸 (50,000ha・66%)

※認定農業者等の個別経営体、集落営農組織、農業参入企業等の法人経営体

出典 兵庫県「ひょうご農林水産ビジョン2025」(2016)



出典 兵庫県「ひょうご農林水産ビジョン2025」(2016)

# 10 人と元気が行き交う五国

## 2030年の姿（拡がる交流）

### ① 地域資源に磨きがかかり、観光交流人口が拡大

- 洗練された都市、美しい自然景観、温泉、食など多彩な地域資源を生かしたツーリズムが拡大
- 訪日外国人観光客の都市集中から地方分散化が進み、県内各地で外国人観光客が大幅に増加
- 専門人材からボランティアまで幅広いおもてなし人材が活躍
- 基幹道路の整備、大型クルーズ船の受入環境の充実、関西3空港の最大・最適活用など、陸・海・空の交通インフラが充実



神戸港に入港する外国クルーズ客船

### ② 都市部と多自然地域との交流が拡大

- 空き家・耕作放棄地の活用や基幹道路の整備等が進み、多自然地域への移住や二地域居住が拡大
- 特産品の販路拡大、災害応援の関係づくりなど、地域間の多様な交流活動が拡大し、コミュニティの力が持続



県外からの移住

### ③ 世界との共生が深化

- 県内企業の海外事業展開が拡大するとともに、外国企業や外国人留学生・研究者・技術者等が兵庫に集積
- 防災・環境・先端医療等の分野で国際貢献の先進地が形成
- 外国人県民にも暮らしやすい環境整備や、多言語自動翻訳技術を活用した相互理解が進み、多文化共生が実現



大学と集落の交流

## ① 都市間競争力が高まる都市中心部

- 三宮の再開発など、商業・文化・交流機能が集積し、都市の魅力が高まり競争力が強化
- 基幹産業やベンチャー企業、研究機関などで多様な人々が働き、活力を創出

## ② 多世代の混住化が進む郊外住宅地（ニュータウン）

- 三世代近居を求める子育て世代や大学生の入居等により、多世代によるコミュニティが実現
- 空き店舗を活用した趣味活動やチャレンジショップの開業等により、地域内の交流が拡大

## ③ 生活サービスや交通の拠点となる地方都市

- 商店や医療機関が維持され、周辺集落からの購買等の中心地になるとともに、広域交通と地域交通の結節点としての機能も強化
- まちなかの空き家が住戸やオフィス、観光施設等として再生し、職住近接の環境が整備

## ④ 交流で賑わう多自然地域の集落

- ネット通販や遠隔診療、電子マネーの普及等により、利便性の高い暮らしが実現
- 幹線道路を走る民間バスと集落を走るコミュニティバスなど、自動運転技術も活用した多様な公共交通網が整備され、住民の足が確保
- 空き家・廃校舎等が二地域居住や交流の拠点として再生し、賑わいを創出



廃校を活用したオフィス（養父市）



古民家を活用したホテル（篠山市の集落丸山）



自動運転バス（横浜市での実証実験車両）

## (協議事項2) 兵庫・神戸の活力創出

県都神戸の都市としての魅力を高め、活力を創出するため、三宮再整備、平成31年度に合同庁舎の供用を開始する新長田の活性化、六甲山の活性化、交流基盤の整備促進等について今後の取組の方向性等を協議する。

### 1 三宮再整備の推進

#### (1) 現状・課題

- ・都心・三宮の再整備について、平成27年9月に神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン] と三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定。その具現化に向けた取組を迅速かつ着実に推進しているところであるが、さらなるスピード感を持って事業を推進するためには、県市一体となった取組が必要である。

#### (2) これまでの主な取組

- |          |  |
|----------|--|
| 平成27年9月  | 神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン] と三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定   |
| 平成28年11月 | 特定都市再生緊急整備地域への指定   |
| 平成29年3月  | 新たな中・長距離バスターミナル整備に向けた基本計画 (案) の策定に向けた「基本計画アドバイザー」の公募・選定                                |
| 6月       | サンパルビル区分所有者一同より「新バスターミナル整備計画推進に関する要望書」の提出 [民]  |
| 6～7月     | 官民一体での国への要望活動実施  |
| 7月       | 都心三宮再整備推進会議設置 (第1回)<br>「えき~まち空間」基本計画素案・新バスターミナル整備に向けた基本計画案の検討状況<br>神戸阪急ビル東館の新築工事着手 [民] |
| 11月      | 都心三宮再整備推進会議開催 (第2回)<br>「えき~まち空間」基本計画 (案)・新バスターミナル整備に向けた基本計画 (案)                        |

【別添】「えき~まち空間」基本計画 (案)

【別添】新バスターミナル整備に向けた基本計画 (案)

#### (3) 今後の取組の方向性

- ・「えき~まち空間」の実現に向けて、官民共通の具体的な目標像及びその実現に必要な取組を示す「えき~まち空間基本計画」を平成29年度内に策定する。  
その核となる、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」の実現に向けて、交通管理者 (警察) 及び事業者・道路管理者 (市) と協力して検討を推進する。
- ・新たなバスターミナルと対象エリアの再整備の事業化に向けた基本的事項について定めた「新たなバスターミナルの整備に向けた基本計画 (案)」を平成29年度内に策定し、32年度末の着手を目指して事業化を推進する。

## 2 新長田の活性化

### (1) 現状・課題

- ・新長田駅南地区は、震災復興事業による道路や公園などの公共施設整備や住宅の整備の進捗により安全・安心なまちとなり、夜間人口は震災前の1.3倍となっている。
- ・しかし、昼間人口は回復しておらず、JR新長田駅の快速停車と東改札口復活についても実現に至っていない状況であり、まちの活性化、にぎわいづくりの面で課題がある。

	震災前	震災後	増加率
夜間人口	4,397人 (H7.1住基)	5,863人 (H27.7住基)	33.3%
昼間人口	4,906人 (H3事業所統計)	3,499人 (H24経済センサス)	△28.7%

### (2) これまでの主な取組

#### ① にぎわいの創出に資する取組

- 平成7年3月 市街地再開発事業の都市計画決定  
(平成29年11月現在、39棟のビルが完成、2棟が工事中)
- 平成12年4月 復興市街地再開発地域商業施設等入居促進事業(家賃補助)開始  
(平成28年度で受付終了)
- 平成20年4月 復興市街地再開発地域事業所開設支援事業(内装補助)開始
- 平成27年9月 兵庫県・神戸市の関係機関の共同移転を発表
- 平成29年10月 新長田合同庁舎建設工事着手(平成31年度供用開始予定)

#### ② JR新長田駅の快速停車と東口の設置に向けた取組

- 平成22年10月 第3回市会本会議において、JR新長田駅に快速停車と東口復活を求める「JR新長田駅に関する請願」を採択
- 平成23年3月 地元住民を中心とした約3万1千人の署名をJR西日本に提出し、快速停車と東改札口の復活を要望
- 平成20年度～ JR西日本との意見交換会を定期的に行う(計29回)

### (3) 今後の取組の方向性

- ・復興市街地再開発地域事業所開設支援事業(内装補助)を継続し、合同庁舎により創出される波及効果を効果的に取り込み、にぎわいを創出する。
- ・JR新長田駅への快速停車及び東口の設置に向け、県市一体となってJR西日本に対する働きかけを行う。

## 3 六甲山の活性化

### (1) 現状・課題

- ・宿泊ニーズの変化等により、六甲山上では利用されないまま放置されている企業保養所等が増加し賑わいが喪失している。
- ・国立公園である六甲山は、その保護を目的として、自然公園法、都市計画法並びに風致条例などによる厳しい規制がかけられており、保養所等の新たな利活用促進の障害となっている。

- ・現在の国立公園計画において認められる利用施設は、個々に指定する単独施設のみであり面的整備が難しく、事業者による公園事業<sup>※</sup>への新規参入は難しい状態。

※ 公園事業：園地、宿舎、休憩所、野営場、展望施設、博物館、植物園など

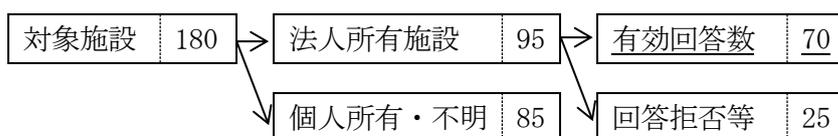
### ＜六甲山における建築物への主な規制＞

法令（許可権者）	主な規制内容
自然公園法 (環境大臣)	国立公園第二種特別地域内において <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ13m以下又は既存の高さ以下</li> <li>・建ぺい率20%以下、容積率40%以下</li> <li>・建築面積2,000㎡以下</li> <li>・主要道路からの壁面後退距離20m以上 等</li> </ul>
都市計画法 (神戸市長)	市街化調整区域において、以下のいずれかに該当すれば新築、建替え、用途変更等が可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・許可不要なもの（法29条1項各号）</li> <li>・原則許可必要なもの（法34条各号）</li> </ul> （なお、法34条2号許可基準の一部で、市の定める六甲山地区における土地利用運用基準により既存建築物については規制を緩和。）
風致地区内における建築等の規制に関する条例 (神戸市長)	第一種風致地区において <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ10m以下又は既存の高さ以下</li> <li>・建ぺい率20%以下</li> <li>・緑地率50%以上 等</li> </ul>

### ＜平成28年度 六甲山上の企業保養所等の調査＞

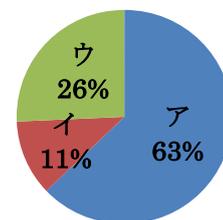
〔対象〕 六甲山上に所在する180の企業保養所等の施設

〔内容〕 現在の活用状況および今後の活用可能性、転用予定、売却意思の有無など



#### 保養所の活用状況

- ア) 活用している : 44件
- イ) 活用していないしその可能性もない : 8件
- ウ) 活用していないが今後活用する可能性がある : 18件



## (2) これまでの主な取組

### ① 遊休施設利活用の促進

- 平成28年5月 県市合同で「六甲山土地利活用プロジェクトチーム (PT)」を設置
- 平成29年6月 国立公園六甲山魅力向上プロジェクト推進委員会を開催
- 〃 六甲山上の遊休施設等を利用した「賑わい創出事業」の提案募集
- 7月 民間投資がより促進される公園計画への変更に向け、国への要望活動を実施

## <国立公園六甲山魅力向上プロジェクト推進委員会の概要>

- [目的] 六甲山の魅力向上に向けて、多様な主体が連携・協働して取組を推進するためのビジョンやトレイル満喫プランなどを検討
- [構成員] 環境省、県、神戸市、学識経験者、関係事業者 等

## <六甲山上の遊休施設等を利活用した「賑わい創出事業」の概要>

- ①(株)アマデラスホールディングス：レストラン付森林体験施設（県市協調）
- ②(有)ガイジズ：ドローンの操作技術を教えるセミナーハウス（県市協調）
- ③篠原・八幡・都賀財産区：平成29年度内に既存建物を解体（市単独）

### ② 公園計画変更等の取組

- ・平成29年度より、環境省は、公園計画の第4次点検を進めている。その中で、六甲山地区や摩耶地区における規制の見直しや、同地区において利用拠点として面的な利用を推進する集団施設地区の設置など、県市で協調しながら国との調整を進めている。
- ・平成29年2月、六甲山上地区における建築物の高さ基準を含む風致条例の特例適用について、神戸市の公園緑地審議会の意見を踏まえて緩和の方向性を決定。

### (3) 今後の取組の方向性

#### ① 遊休施設利活用の促進

- ・活用と自然保護の最適なバランスを保ちながら活性化を図るためのランドデザイン（将来ビジョン）を「六甲山再生委員会」（本年12月設置予定）において検討する。

#### ② 公園計画変更等の取組

- ・環境省の公園計画見直し後に予定されている管理運営計画の策定についての議論を通じて、県市協調した働きかけを推進する。
- ・風致条例の特例適用の運用基準については、平成30年4月より運用を開始予定。

## 4 交通基盤の整備推進

### I. 大阪湾岸道路西伸部

#### (1) 現状・課題

- ・H28年度に国直轄道路事業として新規事業着手され、H29年度からは有料道路事業の導入により早期整備の枠組みが整った。
- ・早期整備に向けた国直轄事業の予算確保に加え、「みなと神戸」にふさわしい景観の創出、道路を活用した地域活性化に資する展望施設や休憩施設の整備等を国・阪神高速に求めている。

#### (2) これまでの主な取組

- |         |  |
|---------|--|
| 平成27年4月 | 大阪湾岸道路西伸部整備促進 <u>県議会議員連盟</u> の設立         |
| 5月      | 大阪湾岸道路西伸部整備推進 <u>神戸市議会議員連盟</u> （市会議連）の設立 |
| 〃       | 大阪湾岸道路西伸部整備促進 <u>国会議員連盟</u> の設立          |
| 6月      | 関西高速道路ネットワーク推進協議会（県、神戸市、神商議、関経連等で構成）の設立  |

- 平成28年4月 国直轄道路事業として新規事業着手
- 平成29年2～3月 阪神高速の料金改定について県議会、市会の議決
- 4月 有料道路事業を導入
- 7月 阪神湾岸地域高速道路網（大阪湾岸道路西伸部・名神湾岸連絡線）整備促進県議会議員連盟（県議会議連）の設立  
阪神湾岸地域高速道路網整備促進国会議員連盟の設立
- 11月 県議会議連 第2回総会の開催、市会議連 第5回総会の開催

### (3) 今後の取組の方向性

- ・引き続き、県・神戸市は、経済界とも連携し、事業者である国や阪神高速に早期整備等を働きかけていく。

【別添】大阪湾岸道路西伸部パンフレット

## II. 神戸西バイパス

### (1) 現状・課題

- ・平成28年12月に国が発表した「近畿圏の新たな高速道路料金に関する具体方針（案）」において、第二神明など神戸市以西の高速道路料金についても、神戸西バイパスなど兵庫県内のネットワーク整備の観点も踏まえ、早急に見直しの成案を得ることとし、引き続き検討・調整を行うとされている。

### (2) これまでの主な取組

有料道路事業の導入に向けた第二神明道路の料金見直し等について、神戸市や明石市とともに検討・調整を進めている。

平成29年7月 阪神湾岸地域高速道路網整備促進国会議員連盟の設立

### (3) 今後の取組の方向性

- ・平成30年度から西日本高速道路株式会社による有料道路事業を導入し、早期整備が図られるよう、県と神戸市は明石市とも連携して国等へ働きかけていく。

【別添】神戸西バイパス位置図



### (協議事項3) 次世代産業の育成

次世代産業を育成するため、中小企業におけるAI・IoTの導入促進や航空機産業の競争力強化、神戸医療産業都市の更なる発展に向けた取組について協議する。

#### 1 中小企業の競争力強化

##### I. AI・IoTの導入促進

###### (1) 現状・課題

- ・新たな付加価値の創出や生産性の向上をめざし、自動走行をはじめ各分野でAI、IoT・ビッグデータなど「第4次産業革命」による技術革新の実装が進みつつある。
- ・この変化に的確に対応できるよう中小企業の取組を支援していく必要がある。

###### (2) これまでの主な取組

- ・厚生労働省の補助金「戦略産業雇用創造プロジェクト」(国庫8/10)を活用し、「兵庫県次世代産業雇用創造プロジェクト」を展開(平成27～29年度:航空・宇宙、ロボット、新素材、環境・次世代エネルギー、先端医療等の次世代産業分野を支援)
- ・H29年11月からは、AI・IoTの専門人材育成に向け・技能者育成講習会や経営指導員・企業向け研修会を開催(新産業創造研究機構)

###### (3) 今後の取組の方向性

- ・「次世代産業雇用創造プロジェクト」を拡充し、AI・IoTの導入促進策を新たに展開
- ・これまでの先端医療分野に加え、AI・IoTの導入促進策も県・神戸市の連携で推進

##### <平成30年度からの実施を予定している主な取組>

- ① ロボット・AI・IoT総合相談センターの開設(新産業創造研究機構内を想定)
  - ・常駐アドバイザー(企業OB)、ITエンジニアによるワンストップ相談窓口の設置
  - ・中小企業による先進事例を、導入プロセスとともに紹介
- ② モデル事業・ビジネスマッチングの実施
  - ・生産性向上、人手不足対策のためのAI・IoT導入モデル事業の実施
  - ・ものづくり企業とITベンチャーとのマッチング(商談会の開催、個別マッチング)

##### <AI・IoT活用事例>

###### 事例1:工場における業務の効率化

- ・人が行っていた作業をIoTに置換・・・工作機械にセンサを設置し、従業員の発信器と連携させることで、作業記録、日報等を瞬時に作成し、業務時間を短縮
- ・データから製品の最適値を把握・・・製品加工の際、表面の状況、曲げの強さ、所要時間等のデータをセンサで取得し、その分析により最適な作業方法を把握

###### 事例2:バスの運行管理の高度化

- ・バスの運行状況をリモート管理・・・運転手の健康状態をバイタルセンサで取得し、道路情報と組み合わせて解析し、車両の状況、危険状態を詳細に検知
- ・データベースとの連携による危険察知・・・車線数、勾配、線形等の道路データベースと組み合わせて事故発生リスクの高い地点を検出し、運転手に警告

## Ⅱ. 航空産業非破壊検査トレーニングセンターの活用促進

### (1) 現状・課題

- ・ 県工業技術センター内に整備した「航空産業非破壊検査トレーニングセンター」の活用により、本県航空機産業の生産力・競争力を強化し、航空機部品の一貫生産体制の構築を促進する必要がある。

### (2) これまでの主な取組

- ① 設置場所 兵庫県立工業技術センター（兵庫県神戸市須磨区行平町3-1-12）
- ② 設置者 兵庫県
- ③ 運営者 一般社団法人日本非破壊検査協会
- ④ 内 容

検査方法	概要	定員 (人)	講習時間 (h)	受講料(千円)			
				基礎	応用	合計	
浸透探傷 (PT)	浸透液の指示模様により表面のきずを検出	10	59 約2週間	本来料金 国・県支援後	171 (0)	79 [0]	250 (0)
磁粉探傷 (MT)	磁粉の指示模様により表面のきずを検出	5	59 約2週間	本来料金 国・県支援後	290 (90)	160 [0]	450 (90)
超音波探傷 (UT)	超音波の反射により内部のきずを検出	5	120 約3週間	本来料金 国・県支援後	422 (222)	178 [0]	600 (222)

※ [ ] 内は、国助成制度により受講料は無償（応用講習・平成29年度限り）

※ ( ) 内は、県内企業が「兵庫県次世代産業雇用創造プロジェクト」の「航空機関連の技術者人材育成事業」を活用した講習費用補助[20万円/人(定額)・上限40万円/社]を適用した受講料

- ⑤ 開 講 平成29年12月18日
- ⑥ 平成29年度講習概要（実証事業）

検査方法	講習期間	募集期間	定員
磁粉探傷(MT)	H29. 12. 18~27	H29. 11. 6~24	5名
浸透探傷(PT)	H30. 2. 5~15(予定)	H29. 12. 18~H30. 1. 12(予定)	5名

### (3) 今後の取組の方向性

- ① 受講生募集にあたっての神戸市内の各企業への案内・周知
- ② 非破壊検査員の人材確保、社内体制整備に対する支援等

### 【その他の「中小企業の競争力強化」に資する取組】

#### ○ 第30回全国技能グランプリの開催

平成31年3月に熟練技能士が技能の日本一を競う「全国技能グランプリ」を神戸で開催

#### <開催概要>

- ① 日 程 平成31年3月1日～4日（予定）
- ② 主 催 厚生労働省、厚生労働省が委託する実施団体
- ③ 会 場 神戸国際展示場他

※原則、千葉県(幕張メッセ)で隔年開催。近年の地方開催はH20兵庫県、H28静岡県

- ④ 競技職種 建築大工、和裁等の30職種（約500名参加予定）

## 2 神戸医療産業都市の更なる発展

### I. 「京」などを活用したスパコン産業利用の促進

#### (1) 現状・課題

- ・近い将来、ポスト「京」へのリプレースのため「京」が停止することに伴い、産業界からの利用者の利便性が低下する
- ・ポスト「京」が非常に高い性能となり、産業利用に更なる高度な技術が必要となるため、計算科学振興財団が運用する「FOCUSスパコン」の性能向上・能力拡大が必要である。
- ・データサイエンス、人工知能(AI)、ビッグデータ処理など、高まる企業ニーズへの対応が求められている

#### (2) これまでの主な取組

- 平成20年1月 「京」立地の地元支援策として計算科学振興財団を設立
- 平成23年4月 国内唯一の産業界専用のスーパーコンピュータとして「FOCUSスパコン」を計算科学振興財団に整備
- 平成24年9月 理研計算科学研究機構にて「京」の共用開始
- 平成26年1月 産業界からの利用増に応えるため、「FOCUSスパコン」の計算能力をそれまでの約10倍に大幅増強（現在は「京」の1/30の能力）  
3月 ポスト「京」の設置場所が神戸に決定
- 平成27年4月 産業用スパコン利用相談センターを開設（計算財団）
- 平成29年4月 「FOCUSスパコン」の一部を仕様変更し、人工知能（AI）をビジネスに活用する企業への支援を開始

#### (3) 今後の取組の方向性

- ・「京」停止時、及びポスト「京」時代において、計算科学振興財団が産業利用を促進するための支援を実施できるよう、「FOCUSスパコン」の大幅増強や高度人材の確保を行い、財団活動の充実を目指す。
- ・シミュレーションやビッグデータ、創薬などと組み合わせたAI開発に取り組み、医療産業都市での更なる研究教育拠点形成を目指す。

### II. 「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」の取組充実

#### (1) 現状・課題

- ・将来にわたり健康で生き活きとした人生を送っていく上での「羅針盤」となる健康予測ツールの開発を目指し、「研究開発」「事業化支援」「人材育成」といった3つの分野において事業を推進
- ・国からの支援期間終了後、本事業が自立し、神戸に「健康科学に基づいたビジネス」の国際的拠点を築くため、県市及び理研・参画機関とともに将来構想を検討

## (2) これまでの主な取組

- 平成27年11月 神戸提案が、当初全国から唯一の本拠点として採択
- 平成28年4月 事業開始記念シンポジウムを神戸にて開催
- 11月 融合連携イノベーション推進棟(IIB)に「IIBサロン」を開設、オープンイノベーションの場として活用
- 国の政府関係機関移転基本方針に基づき、理化学研究所「科学技術ハブ推進本部関西拠点」を融合連携イノベーション推進棟(IIB)に設置
- 平成29年3月 理研がIIBに診療所を開設、今後毎年1,000人規模の生体データの計測、データベース化を行う。
- 平成29年11月 三宮での新たな拠点(サンパル7階)の開設に先立ち、プレイベント(イブニングセミナー)を開催

## (3) 今後の取組の方向性

- ・事業化支援を行う新たな拠点を三宮(約160㎡)に設置し、県市の産業振興施策との連携・相乗効果を図る(「起業プラザひょうご」との連携など)
- ・国からの支援期間終了後の自立した事業展開に向け、各事業分野における将来の事業内容・事業主体等について、より詳細な検討を参画機関とともに実施

## (協議事項4) 広域観光の振興

さらなるインバウンド誘客の拡大や大規模国際イベントを契機に国内外へ兵庫・神戸を発信するため、滞在型観光や多様な周遊ルートの設定、イベント開催に向けた機運醸成の取組など県市協調による取組について協議する。

### 1 訪日外国人観光客拡大に向けた戦略

#### (1) 現状・課題

- ・兵庫県への訪日外国人観光客数は一定の伸びを示しているが、インバウンド誘致における地域間競争が激化する中、県下の各自治体単位での単独プロモーションに加え、周辺地域との連携による広域でのプロモーションの強化が不可欠である。
- ・併せて、急速に進む個人旅行化へも対応していく必要がある。

#### <参考：訪日外国人客数（推計値）>

	国	兵庫県	大阪府	京都府
平成27年	1,974万人	128万人	716万人	482万人
平成28年	2,404万人	149万人	941万人	661万人
対前年比 (%)	21.8%増	16.4%増	31.4%増	37.1%増

#### (2) これまでの主な取組

- ・市内観光関連事業者や周辺自治体等と連携した現地プロモーションや海外メディア等の招請
- ・タイ、台湾、インドネシア・マレーシア、フランス市場における、現地ニーズ等の情報収集や観光情報の発信のための海外観光ネットワーク拠点の設置

#### <県市協調の取組例>

- ① 県、神戸市、姫路市、豊岡市、大阪観光局と連携し、旅行博「WORLD TRAVEL MARKET LONDON 2016 (H28.11)、2017 (H29.11)」に出展
- ② 県、神戸市等で構成する「兵庫の魅力海外情報発信協議会」とミシュラン社との連携による「ミシュラン・グリーンガイド兵庫Web版」の開設  
摩耶山掬星台や明石海峡大橋・舞子海上プロムナードが新たに2つ星に認定されるなど、兵庫・神戸の魅力を発信
- ③ 県、神戸市が連携し、神戸港に寄港する大型外国クルーズ船の乗船客を県内へと誘導する観光ツアー造成に対する助成を実施

#### (3) 今後の取組の方向性

- ・広域プロモーションの強化（現地プロモーションの充実、情報発信の強化等）による海外での兵庫エリアの認知度向上
- ・急速に進む個人旅行化に対応するための観光客目線での多様なニーズに応じた県内周遊ルートの設定及び効果的な情報発信

## 2 大規模国際イベント開催に向けた協力体制の強化

### (1) 現状・課題

- ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西、国際義肢装具協会（ISPO）世界大会の広報・啓発活動の展開、2025年大阪・関西への万博誘致活動など大規模国際イベントの開催・誘致に向けて県市の協力体制を強化する必要がある。

#### <国際義肢装具協会（ISPO）世界大会 概要>

国際義肢装具協会（ISPO）世界大会は、義肢装具技術の向上と教育の普及・標準化を目指す、世界で最も大規模な国際学術会議であり、2019年30年ぶりに日本（神戸）で開催される。

### (2) これまでの主な取組

#### ① ラグビーワールドカップ2019

平成28年3月 神戸開催準備委員会を設置（県も参画）

第1回：平成28年3月18日、第2回：平成28年5月26日、第3回：平成29年3月14日

平成28年12月 県市共同で公認チームキャンプ地に応募

平成29年9月 大会開幕2年前イベントを実施

平成29年11月 試合日程・会場が決定

#### <ラグビーワールドカップ2019 神戸市御崎公園球技場（ノエビアスタジアム神戸）開催日程 >

9月26日	イングランド	×	アメリカ
9月30日	スコットランド	×	ヨーロッパ・オセアニアプレーオフ勝者
10月3日	アイルランド	×	ヨーロッパ地区代表
10月8日	南アフリカ	×	敗者復活予選優勝チーム

#### ② 東京2020オリンピック・パラリンピック

平成28年1月 国の「ホストタウン」制度に基づき、登録を行っているオーストラリア、英国、クロアチア（登録：平成28年11月）、カナダ（登録：平成29年7月）を中心に誘致活動を実施。

平成28年6月 県市の競技団体関係者が中心となった『KOBECAMP誘致プロジェクトチーム』を設置し、各国競技団体等に誘致活動を実施。

平成29年9月 オーストラリアパラリンピック委員会と事前合宿に関する協定書を締結。

平成29年9月 ネパールパラリンピック水泳連盟と事前合宿について合意。

#### ③ ワールドマスターズゲームズ2021関西

平成28年10月 陸上（競歩）、バスケットボール、オリエンテーリング（スプリント）、卓球、野球（硬式）、水泳（競泳）、水泳（飛込）の計7競技の神戸市内開催が決定。県市連携して競技を運営。

平成29年4月 オークランド大会に各競技団体とともに県市からも視察者を派遣。

11月 ワールドマスターズゲームズの組織委員会とラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックの組織委員会が連携協定を締結。

#### ④ 国際義肢装具協会（ISPO）世界大会

平成28年2月 縣市等による「国際義肢装具協会世界大会2019兵庫・神戸特別企画推進委員会」を設置（独自の特別企画実施に向けて協議）

#### ⑤2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致

平成29年4月 関西広域連合、構成府縣市、万博誘致委員会で構成する「2025日本万国博覧会誘致対策会議」を設置。

平成29年10月 兵庫県議会及び神戸市会において、国際博覧会の誘致実現に向けた取組の積極的な推進について決議。

### (3) 今後の取組の方向性

- ・国際的に注目が高まるこの機会を活かし、世界に向けて兵庫・神戸の魅力をPRし、新たな観光客を取り込み、地域経済の活性化につなげるため、県市一体となって国内外に向けた機運醸成の取組を展開。

#### ① ラグビーワールドカップ2019

- ・平成29年度内に、ラグビーワールドカップ2019準備委員会の体制を拡充した「神戸開催推進委員会」を設立し、機運醸成の取組みを推進。

【参考p. 28】ラグビーワールドカップにかかる最近の状況について  
【別添】ラグビーワールドカップチラシ

#### ② 東京2020オリンピック・パラリンピック

- ・県市一体となってオリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致を推進するほか、学校におけるオリンピック・パラリンピック教室の開催や、特別支援学校におけるパラスポーツ体験、ホストタウン登録国との交流事業等を通じて、大会機運を醸成。

#### ③ ワールドマスタースゲームズ2021関西

- ・県・神戸市・開催競技団体・経済界等が参画する「ワールドマスタースゲームズ2021関西兵庫県実行委員会」と連携して、大会の認知度向上のために更なるプロモーション活動を実施。

【参考p. 29】近畿宝くじの販売促進

【別添】ワールドマスタースゲームズパンフレット

#### ④ 国際義肢装具協会（ISPO）世界大会

- ・特別企画の実施内容の検討や、その進捗状況に応じて関係機関等への支援要請を県市共同で進めていく。

#### ⑤2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致

- ・誘致対策会議と連携しながら、誘致委員会の会員拡大等による国内機運の醸成、BIE加盟国等へのロビー活動など、万博誘致実現に向けた取組を実施。

【別添】2025国際博覧会誘致 会員募集

## ラグビーワールドカップ 2019™にかかる最近の状況について

9月～11月初旬にかけて、大会2年前をPRする各種のイベントが各開催都市で行われ、神戸市でも、ウェブ・エリス・カップの展示・市長表敬（10/22～24）、試合日程発表会（11/2）および日本代表戦（11/4）のパブリックビューイングなど、積極的にプロモーション活動を行った。

また、11月2日には、組織委員会より試合日程ならびにチケット販売概要が発表された。

### ○神戸開催試合日程（プール戦4試合）

日時	対戦カード			
9月26日（木）19:45～	イングランド	対	アメリカ	プールC 予選
9月30日（月）19:15～	スコットランド	対	ヨーロッパ・オセアニアプレーオフ1	プールA 予選
10月3日（木）19:15～	アイルランド	対	ヨーロッパ地区1	プールA 予選
10月8日（火）19:15～	南アフリカ	対	敗者復活予選優勝チーム	プールB 予選

※ヨーロッパ・オセアニアプレーオフ1はサモア、ヨーロッパ地区1はルーマニアが有力。

### ○チケット申込・販売方法

チケットの申込や購入には、大会公式チケットサイトで事前のID登録（無料）が必要

（セット券）	申込期間	抽選結果発表
先行抽選販売（国内ラグビーファミリー※1対象）	1/19（金）～1/26（金）	2/26（月）
一般抽選販売	1/27（土）～2/12（月）	2/26（月）
（通常チケット）	申込期間	抽選結果発表
国内ラグビーファミリー※1先行抽選販売	2/19（月）～3/12（月）	3/26（月）
開催都市住民先行抽選販売	3/19（月）～4/12（月）	4/26（木）
国内ラグビーフレンズ※2先行抽選販売	4/19（木）～5/12（土）	5/26（土）
大会公式サポーターズクラブ会員先行抽選販売	5/19（土）～6/26（火）	7/10（火）
第一次一般販売（抽選）	9/19（水）～11/12（月）	11/26（月）
第二次一般販売（先着）	2019/1/19（土）～	

### ○チケット価格（一例）

通常チケット	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC		カテゴリーD	
			こども		こども	
9/26 イングランド v アメリカ	20,000	15,000	10,000	5,000	5,000	2,500
9/30 スコットランド v ヨーロッパ・オセアニアPO1	15,000	10,000	6,000	2,000	3,000	1,000
10/3 アイルランド v ヨーロッパ地区代表	15,000	10,000	6,000	2,000	3,000	1,000
10/8 南アフリカ v 敗者復活予選勝者	20,000	15,000	10,000	5,000	5,000	2,500
スタジアムパック	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC		カテゴリーD	
神戸パック（神戸開催4試合のセット券）	70,000	50,000	32,000	14,000	16,000	7,000

〔参考〕

チームパック（予選4試合のセット券）	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC		カテゴリーD	
			こども		こども	
ジャパンチームパック	170,000	125,000	85,000	20,000	45,000	10,000

## 近畿宝くじの販売促進について

平成 29 年度近畿宝くじ『ワールドマスターズゲームズ協賛くじ』が、次のとおり発売されますので、販売促進にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

1. 宝くじ名：第 2555 回近畿宝くじ『ワールドマスターズゲームズ協賛くじ』
2. 発売期間：平成 30 年 1 月 4 日（木）～1 月 16 日（火）
3. 発行金額：3 億円（売上金の一部を WMG 開催費に：上限 1 億円）
4. 発行枚数：1 5 0 万枚
5. 発売箇所：近畿 2 府 4 県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）の区域
6. 当せん金及び本数：

1 等	20,000,000 円	1 本	組・番号
(1 ユニット)	前後賞	5,000,000 円	2 本 前後賞
	組違賞	100,000 円	14 本 組違賞
	2 等	1,000,000 円	15 本 各組共通
	3 等	100,000 円	150 本 下 4 桁
	4 等	1,000 円	15,000 本 下 2 桁
	5 等	200 円	150,000 本 下 1 桁
	スフラ賞	10,000 円	3,000 本 下 3 桁
7. 抽せん日：平成 30 年 1 月 18 日（木）
8. 発売単価：200 円／枚
9. 宝くじ証票デザイン





## (協議事項5) 行政サービスの更なる改善

これまで県・市協調により取り組んできた事務の合理化に加え、事務手続きの改善など県・市連携による行政サービスの更なる改善に向けた取組の進め方について協議する。

### (1) 現状・課題

- ・住民が日常生活、地域活動及び経済活動などにおいて、役所（県・市）に届出や申請又は相談をしようとした時に、県・市両方に同じような手続きが必要で負担になる事例、事業内容や窓口が分かりにくい事例などが生じている。

#### <参考事例>

##### ① 防犯カメラ設置に対する補助事業

- ・防犯カメラ設置補助の応募窓口については神戸市に統一し、住民の手続き負担を軽減しているが、交付申請等の手続きにおいては、県と市へ書類を提出する必要がある。

### (2) これまでの主な取組

- ・県市の協調・連携により、行政サービスの向上、行政の効率化をめざす取組を進めてきた。

平成 27 年 4 月	シアトル事務所・東京事務所の移転、連携強化
平成 28 年 4 月	就労相談窓口の一本化（ひょうご・しごと情報広場へ統合）
平成 28 年 9 月	海外進出センターの一体運用
平成 29 年 3 月	産業振興に係る相談窓口の一本化
平成 29 年 4 月	中小企業融資制度の一元化

### (3) 今後の取組の方向性

- ・事務所の一体化、窓口の一本化等の取組に加え、各種補助事業等において、事務の重複や住民の負担となっている事例を共有し、住民及び地域団体の利便性向上に向けた事務手続きの改善に引き続き取り組んでいく。



## 兵庫県・神戸市調整会議設置要綱

## (設置)

第1条 兵庫県及び神戸市の事務の処理について必要な協議を行うため、地方自治法第252条の21の2に基づき「兵庫県・神戸市調整会議」(以下「調整会議」という。)を設置する。

## (協議事項)

第2条 調整会議は次に掲げる事項を協議する。

- (1) 県及び市が連携して取り組むべき施策のうち、特段の懸案事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、県及び市の事務の処理について必要な事項

## (組織)

第3条 調整会議は別表に掲げる者をもって構成する。

- 2 前項に掲げる者のほか、兵庫県知事及び神戸市長が必要と認めるときは構成員を加えることができる。

## (会議)

第4条 調整会議は知事又は市長が招集する。

## (事務局)

第5条 調整会議の事務局は、兵庫県企画県民部及び神戸市企画調整局に置く。

## (補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、調整会議の運営に関して必要な事項は、別に定める。

## 附則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

## 別表(第3条関係)

兵庫県	神戸市
知事、副知事、企画県民部長、 神戸県民センター長 県議会の代表者 2名以内	市長、副市長、企画調整局長、 行財政局長 市会の代表者 2名以内